



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東
コード番号 3646 URL <https://ekitan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 COO (氏名) 金田 直之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 小嶋 勝也 TEL 03-6367-5951
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,941	26.9	37	△75.7	△74	—	△71	—	△794	—
2023年3月期第2四半期	1,529	△1.2	153	△1.6	63	0.8	65	2.0	48	62.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △791百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 48百万円(62.3%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△163.91	—
2023年3月期第2四半期	8.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,644	1,666	61.8
2023年3月期	3,152	2,487	78.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,633百万円 2023年3月期 2,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

2024年3月期の連結業績予想につきましては、非開示といたします。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）株式会社駅探I&I、除外 —

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	6,018,800株	2023年3月期	6,018,800株
2024年3月期2Q	1,176,541株	2023年3月期	1,171,316株
2024年3月期2Q	4,844,659株	2023年3月期2Q	5,531,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2023年11月9日（木）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど、感染拡大防止のための行動制限緩和によって経済社会活動の正常化が進展したものの、不安定な国際情勢の中、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、円安を背景とした物価上昇など、経済動向は引き続き先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの柱であります乗換案内等の有料会員サービスは、コモディティ化等の市場環境の影響による有料会員の減少傾向に伴い、当サービスにおける収益は継続的に減少しており、新たな柱となる事業創出、ポートフォリオ強化が急務となっております。その一環として、2022年11月にプラウドエンジン株式会社、2023年4月に株式会社探I&Iを連結子会社にしたことにより、売上高は大幅に増加しました。

一方、利益面では、貢献利益率の高い有料会員サービスの減少の影響が大きく、また、前連結会計年度で対応しておりましたチケットレス出張手配サービス「BTOnline」の改修作業の追加コスト、株式会社探I&Iの会社設立、株式取得に関する一時的なコストの発生により、損失計上となりました。

また、株式会社サークアにおいて、薬機法の改正やその取り巻く環境の厳しさが増したことが影響し、主力の広告商材、配信メディアの縮小により、大幅な減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,941,207千円（前年同四半期比26.9%増）、EBITDAは37,302千円（前年同四半期比75.7%減）、営業損失は74,117千円（前年同四半期比は63,536千円の営業利益）、経常損失は71,577千円（前年同四半期は65,212千円の経常利益）となりました。

また、連結子会社である株式会社サークアの取り巻く外部環境の変化を踏まえ、見直した事業計画を基に将来キャッシュ・フローの見積もりを行った結果、のれん等の無形固定資産の回収は困難であると判断したことに加え、新規事業であります「探PICKS」において、検索エンジンの表示順位判定基準（アルゴリズム）の変更の影響により、当初計画より大幅に遅れが生じていることを踏まえ、793,498千円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は794,068千円（前年同四半期は48,932千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの対前第2四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

なお、株式会社探I&Iを設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、M&A・インキュベーション事業セグメントを追加しております。

①モビリティサポート事業

乗換案内サービスのコモディティ化による継続的な有料会員の減少に伴い、減収傾向で推移したことに加え、前連結会計年度で対応しておりましたチケットレス出張手配サービス「BTOnline」の改修作業の追加コストが生じたため、減収減益となりました。

この結果、売上高は740,501千円（前年同四半期比6.2%減）、EBITDAは186,637千円（前年同四半期比26.8%減）、セグメント利益は159,822千円（前年同四半期比29.6%減）となりました。

②広告配信プラットフォーム事業

前第3四半期連結会計期間からプラウドエンジン株式会社を当セグメントに追加したことに伴い、増収となりましたが、株式会社サークアにおいて、薬機法の改正やその取り巻く環境の厳しさが増したことが影響し、主力の広告商材、配信メディアの縮小により、大幅な減収減益となった結果、セグメント損失となりました。

この結果、売上高は678,734千円（前年同四半期比8.3%減）、EBITDAは△25,995千円（前年同四半期は41,456千円）、セグメント損失は97,964千円（前年同四半期は17,544千円のセグメント損失）となりました。

③M&A・インキュベーション事業

売上高は522,762千円、EBITDAは23,632千円、セグメント利益は13,211千円となりました。なお、当セグメントは、2023年4月25日付で株式会社探I&Iを設立したことに伴い、新たに追加したものであり、比較すべき前第2四半期連結累計期間の金額が存在しないため、当第2四半期連結累計期間に発生した金額のみ記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,994,223千円となり、前連結会計年度末に比べ125,648千円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産（前連結会計年度末は売掛金及び契約資産）の増加94,791千円、現金及び預金の増加16,843千円、及び流動資産「その他」の増加3,485千円によるものであります。固定資産は650,578千円となり、前連結会計年度末に比べ633,794千円減少しました。これは主に、のれんの減少307,958千円、顧客関係資産の減少244,090千円によるものであります。

この結果、総資産は2,644,801千円となり、前連結会計年度末に比べ508,146千円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は622,793千円となり、前連結会計年度末に比べ184,653千円増加しました。これは主に、流動負債「その他」の増加106,092千円、1年内返済予定の長期借入金の増加63,123千円によるものであります。固定負債は355,264千円となり、前連結会計年度末に比べ128,431千円増加しました。これは主に、長期借入金の増加185,495千円、退職給付に係る負債の増加49,980千円によるものであります。

この結果、負債合計は978,057千円となり、前連結会計年度末に比べ313,084千円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,666,743千円となり、前連結会計年度末に比べ821,231千円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少861,933千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.8%となり、前連結会計年度末に比べ17.1ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、当社グループを取り巻く環境の変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについて、信頼性の高い数値の算定が困難なため、業績予想は非開示とさせていただきます。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上、2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,983	1,441,826
受取手形、売掛金及び契約資産	388,810	483,602
商品	—	786
仕掛品	12,866	23,482
原材料及び貯蔵品	1,760	1,515
その他	40,567	44,052
貸倒引当金	△412	△1,042
流動資産合計	1,868,574	1,994,223
固定資産		
有形固定資産	60,984	70,133
無形固定資産		
ソフトウェア	313,784	118,289
顧客関係資産	272,490	28,400
のれん	451,244	143,285
その他	102,392	94,848
無形固定資産合計	1,139,911	384,823
投資その他の資産		
その他	83,476	197,084
貸倒引当金	—	△1,463
投資その他の資産合計	83,476	195,621
固定資産合計	1,284,373	650,578
資産合計	3,152,947	2,644,801
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,390	195,303
1年内返済予定の長期借入金	9,160	72,283
未払法人税等	13,244	25,098
賞与引当金	13,792	69,320
受注損失引当金	9,100	9,244
買付契約評価引当金	13,156	13,156
その他	132,294	238,386
流動負債合計	438,139	622,793
固定負債		
長期借入金	90,840	276,335
資産除去債務	14,411	14,411
退職給付に係る負債	—	49,980
繰延税金負債	119,581	12,537
その他	2,000	2,000
固定負債合計	226,833	355,264
負債合計	664,973	978,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	293,531	302,446
利益剰余金	2,498,077	1,636,144
自己株式	△595,589	△598,290
株主資本合計	2,487,974	1,632,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1,263
その他の包括利益累計額合計	—	1,263
非支配株主持分	—	33,224
純資産合計	2,487,974	1,666,743
負債純資産合計	3,152,947	2,644,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,529,671	1,941,207
売上原価	1,063,502	1,400,882
売上総利益	466,168	540,324
販売費及び一般管理費	402,631	614,442
営業利益又は営業損失(△)	63,536	△74,117
営業外収益		
受取利息	14	1,738
未払配当金除斥益	61	80
助成金収入	1,500	—
保険解約返戻金	—	812
利子補給金	626	625
その他	100	701
営業外収益合計	2,301	3,957
営業外費用		
支払利息	626	1,363
その他	—	54
営業外費用合計	626	1,417
経常利益又は経常損失(△)	65,212	△71,577
特別損失		
固定資産除却損	—	130
リース解約損	—	1,320
減損損失	—	※ 793,498
投資有価証券評価損	—	9,284
特別損失合計	—	804,233
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	65,212	△875,810
法人税等	16,279	△82,825
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,932	△792,984
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,083
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	48,932	△794,068

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,932	△792,984
その他有価証券評価差額金	—	1,403
四半期包括利益	48,932	△791,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,932	△792,804
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	65,212	△875,810
減価償却費	65,747	76,797
減損損失	—	793,498
のれん償却額	23,920	34,622
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△97	△193
賞与引当金の増減額(△は減少)	383	20,680
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,080	—
受取利息	△14	△1,738
支払利息	626	1,363
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	6,208	108,130
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,066	3,635
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,831	△69,751
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△912
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△3,963
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	143
投資有価証券評価損益(△は益)	—	9,284
固定資産除却損	—	130
その他	△24,681	31,767
小計	123,488	127,683
利息の受取額	14	1,738
利息の支払額	—	△690
法人税等の還付額	0	150
法人税等の支払額	△41,773	△19,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,730	108,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,510	△14,555
無形固定資産の取得による支出	△169,684	△57,675
定期預金の預入による支出	—	△6,300
定期預金の払戻による収入	—	4,800
短期貸付金の回収による収入	—	90,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△10,412
敷金及び保証金の回収による収入	2,000	2,460
新規連結子会社の取得による支出	—	△97,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,194	△88,785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△5,000
長期借入金の返済による支出	—	△27,744
配当金の支払額	△76,750	△67,572
非支配株主からの払込みによる収入	—	32,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,750	△68,316
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△167,214	△48,188
現金及び現金同等物の期首残高	2,079,577	1,424,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,912,362	1,376,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社駅探I&Iを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社駅探I&Iは当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社駅探I&Iがグローバルアンドコミュニケーションズ株式会社、株式会社サイバネット及び株式会社アイティジェイの株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社の連結子会社である株式会社サークアの取り巻く外部環境の変化及び新規事業であります「駅探PICKS」において当初計画より大幅に遅れが生じていることを踏まえ、関連するのれん等の無形固定資産を減損損失として特別損失に計上しています。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			
	モビリティ サポート事業	広告配信プラット フォーム事業	M&A・インキュベ ーション事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	789,214	740,457	—	1,529,671
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	789,214	740,457	—	1,529,671
セグメント利益又は損失 (△)	226,953	△17,544	—	209,408
減価償却費	27,320	35,944	—	63,265
のれん償却額	863	23,057	—	23,920
EBITDA (注)	255,137	41,456	—	296,594

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	209,408
全社費用 (注)	△145,871
四半期連結損益計算書の営業利益	63,536

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	モビリティサポート事業	広告配信プラットフォーム事業	M&A・インキュベーション事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	739,710	678,734	522,762	1,941,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	791	—	—	791
計	740,501	678,734	522,762	1,941,999
セグメント利益又は損失（△）	159,822	△97,964	13,211	75,069
減価償却費	26,815	44,577	3,189	74,582
のれん償却額	—	27,390	7,231	34,622
EBITDA（注）	186,637	△25,995	23,632	184,274

（注） EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	75,069
全社費用（注）	△149,187
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△74,117

（注） 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する事項

第1四半期連結会計期間において、株式会社駅探I&Iを設立及び株式会社駅探I&Iがグロースアンドコミュニケーションズ株式会社、株式会社サイバネット及び株式会社アイティジェイの株式を取得し、新たに連結範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「M&A・インキュベーション事業」において845,890千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループのM&A・インキュベーション事業の共同運営を行う株式会社駅探I&Iを設立したことに伴い、報告セグメントを従来の「モビリティサポート事業」及び「広告配信プラットフォーム事業」の2区分から、「モビリティサポート事業」、「広告配信プラットフォーム事業」及び「M&A・インキュベーション事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、793,498千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「M&A・インキュベーション事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社駅探I&Iがグロースアンドコミュニケーションズ株式会社、株式会社サイバネット及び株式会社アイティジェイの株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、第1四半期連結会計期間においては68,961千円であります。

また、「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間において、345,855千円であります。

なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）に当該のれんの減損も含めて記載しております。